

令和元年6月2日 資料

復興の現状について(飯館村)

1 復興の現状について

(1) 帰村の状況について

- ・人口、世帯数(R1.5.1現在)
5,596人／2,313世帯
- ・村内居住者数(R1.5.1現在)
1,301人／642世帯

(2) 除染の進捗状況

- ・除染計画に基づく除染等は完了

(3) 生活インフラ整備

- ・水道・電気・電話等の基本的なインフラは復旧済
- ・コンビニエンスストア 2店舗営業

(4) 公共施設

- ・宿泊施設「きこり」...平成29年5月再開
- ・村交流センター ...平成28年8月完成
- ・広域消防飯館分署...平成28年7月完成
- ・県警村駐在所 ...平成30年3月完成
- ・いいたてクリニック...平成28年9月再開

(5) 村営住宅

- ・大谷地団地...16戸建替済
- ・桶地内団地...10戸建替済
- ・深谷団地...15戸整備済
- ・その他既存住宅リフォーム済



復興の現状について(飯舘村)

(6)学校

- ・認定こども園、小・中学校
...平成30年4月村内で再開
※義務教育学校 令和2年度開校に向け準備中

(7)事業所・企業

- ・事業所...79事業所が営業中(H31年2月1日現在)。
製造、建築・土木、自動車整備業中心
- ・商店...コンビニエンスストア1店(道の駅以外)

(8)スポーツ施設

- ・陸上競技場、サッカー場
- ・野球場
- ・テニスコート(屋内、屋外) 4面

(9)復興拠点

- ・「いいたて村の道の駅までい館」...平成29年8月開業
- ・花卉栽培施設...ガラスハウス1棟、耐候性ハウス4棟稼働中
- ・復興公営住宅...15戸 入居中
- ・多目的交流広場...令和2年度完成予定

(10)特定復興再生拠点

- ・別紙資料のとおり

(11)その他

- ・村営葬儀所...平成29年12月稼働開始
- ・水稻作付面積...12行政区 47ha(平成31年度予定)
- ・ライスセンター(米乾燥調製施設)...令和2年度完成予定



復興の現状について(飯舘村)

2 今後の課題

①移住・定住・交流対策

- ア 村内移住・定住者呼び込みのための各種取り組み
- ・急激な人口減少と村の復興再生の重点事項として、また復興計画の「ネットワーク型の新しいむらづくり」の実現のため、平成30年度より専門部署を設置し、移住・定住・交流を推進
- ※平成30年度実績 移住者 20世帯 27人

②広域連携の視点

ア 二次救急医療体制の構築

- ・診療所(いいたてクリニック)が平成28年9月に再開したが、重篤化、救急等に対応できる医療体制を広域で構築

イ 介護・福祉

- ・特別養護老人ホーム「いいたてホーム」が震災後直後から継続して現在も開所中であるが、介護人員の不足が深刻な問題となっている。また、帰村した村民の在宅介護・福祉のための人員確保が必要

ウ 獣害対策

- ・イノシシによる被害が甚大であり、一自治体で解決できるものではない。被災市町村の広域的な取り組みが必要



復興の現状について(飯舘村)

3 帰村・復興・再生に向けて

ア 学校

- ・平成30年4月から、小・中学校を認定こども園と一緒に村内で再開。認定こども園を含め現在100余名が通っているが、今後の教育環境の充実、児童・生徒の増に向けた取り組みが必要。

イ 産業の復興

- ・農業 …… 除染後の農用地等基盤整備と、整備の早期着手着工のための村の体制づくり
風評・鳥獣被害対策も含めた営農再開への支援
- ・林業 …… 山林(里山)除染の速やかな着手
- ・商業 …… 日常の買い物ができる場の確保(増)と、再開又は新規事業者への支援

ウ 特定復興再生拠点計画の推進

- ・帰還困難区域における特定復興再生拠点整備を推進し
村内全域での早期避難指示解除を目指す

